

【 視 点 】

理事長就任のご挨拶

財団法人 土地総合研究所
理事長 照井 利明

このたび財団法人土地総合研究所理事長に就任いたしました。

土地に係る諸問題、不動産市場、不動産業等に関する調査研究を行い、土地政策の推進、不動産業の振興及び不動産に係る事業の健全な発展に貢献することを目的として、これまで土地総合研究所は、初代理事長石原舜介氏、第二代河野正三氏、第三代城野好樹氏の下で、着実に実績を積み上げて参りました。

研究所設立から既に15年が経ちますが、その間にも、土地、不動産を取り巻く情勢は大きく変化し続けてきました。特に、バブル崩壊後の不動産市場の収縮、海外不動産投資市場の隆盛、そして不動産投資信託（REIT）など不動産証券化の急拡大など、その動向は大方の予想を上回る激しいものであったと言えるでしょう。

最近のデータを見ても、地価公示の全国平均が16年ぶりの上昇となりましたし、REITの時価総額は6月末で6.0兆円と前年同期の約1.7倍の水準に拡大しております。

この間、土地政策の舵取りをされた国土交通省及び地方公共団体のご努力はもとより、環境変化の奔流の中で鍛えられてきた不動産業界や関連団体の方々の実力は、まさに称賛に価するものと私は考えます。

土地総合研究所の近年の調査研究課題を見ると、土地政策の基本的なあり方や、国民的関心事項である景観や都市環境、そして、進展著しい不動産投資市場の課題や企業の投資動向、さらには土地基本調査、土地取引価格情報提供システム等の基本的土地情報の充実といった、実に幅広い分野にわたっております。

これからも、土地・不動産情勢は刻々と変化を続けると思われまます。その中で当研究所がいかにより有益な調査研究と情報提供をして行かれるか、私に課された責務は実に重いと自覚しておりますが、皆様のご指導を得ることで、必ずや前進が図れるものと信じて、微力ではありますが全力を挙げて取り組む所存です。

どうか関係各位のご指導とご支援を、心よりお願い申し上げます。